

育成!! 今さら野外で集団行動を 材前線 学ばずゲーム世代の社員研修 人最

新 入社社員研修の真っ只中という方もいるだろうが、世の中には多様な社員研修があるものだ。まずはアップ経営コンサルタントが開発したケータイ社員研修「モビキユー」。その名のとおりケータイから「マーケティング基礎」などの各種講座にアクセスし、一問一答形式で出題される問題に答えながら、「ビジネスの基本事項を学ぶ」というもの。

「ビジネスを学ぶのに本を読んだり、パソコンに向かうのを若者は敬遠しがち。ケータイであればとっつきやすいだろうと開発したシステムです」(代表取締役・伊神純子氏)

だがそんなデジタルな手法に逆らった、思い切りアナログな手法の社員教育もある。箱根の足柄山の山奥で行われる野外体験教育「PAA21」は、もともとアメリカの学校教育のために開発されたプログラム。しかしロコモで、「これは使える」と企業間に広がった人気研修だ。約13人で1グループを組み、人の腕を組んで作った網に後ろ向きに倒れる「トラス

トポール」や、「パンパーポール」(右写真など、丸太とワイヤーで作られた設備の中で冒険に挑戦していくというプログラムだ)。「パンパーポール」であれば仲間が命綱を掴むなど、どの設備やゲームも仲間が協力することでリスクを克服するプログラムになっています。これらの冒険を体験することで、お互いに信頼感が芽生え、コミュニケーションが取りやすくなる。また自分が支えられたり、仲間を支えることで、「自分が必要な存在なんだ」ということを体感できます。会社での役割を見失った人にも、ぜひ経験してもらいたい(足柄グリーンサービス 野外教育事業部・武士文郎氏)

さらには「ゲーム感覚ではまだ甘い」と言わんばかりの、危険度MAXの社員研修も存在する。その名も「韓国海兵隊式訓練研修」。韓国ではLGやサムソンなどの大手企業も採用する人気研修だ。参加者はソウルから約2時間の孤島へ到着するなりバスボートを没収され、そこから元教官たちによる2泊3日に及ぶ海兵隊さながらの訓練がスタートする。日本で独占契約を結ぶ旅行会社「シーティアー」の金杜鶴氏によれば、「怪我をしないような訓練に設定されている」そうだが、内容は地獄そのもの(左写真)。

20kgの砂を詰め込んだリュックを背負って山の中を駆け回り回ったかと思えば、人が最も恐怖を感じる15mの高さからのダイビング(命綱つき)。極めつきはボートを頭にのせたままの食事……本物の海兵隊はこれだろうか。

研修は好評で、無事帰国した会社員からは「自信がついて、以前とは声のトーンが変わった」、「営業成績が伸びた」という声も。昔は遊びや学校で自然と身に付いた集団行動も、今や軍隊で教えないといけない時代になってしまったのだろうか。



直径30cm、高さ8mの丸太の上に立って、離れた空中でフランクとジャンプ。失敗しても仲間の握る命綱が落下を防いでくれる(写真: www.paa21.co.jp)

質問 次のうちコミュニケーション不足になるのはどれ

1. 人に会う前には事前報告を準備する
2. 報告が苦手な場合は、事前に報告内容をまとめてみる
3. 報告が苦手な部下には、毎日必ず仕事を報告させる
4. 時間がお互いに節約できるため依頼内容はメールかいい

20〜30問で構成される講座は、「販売テクニック」「営業・管理職の法律」など全27講座。ちなみに左記の答えは4。クイズ形式が面白い(https://www.unikel.jp/index.html)



100kgのボートを8人で支え、1人のミスで連帯責任。池に浸かったままの食事や、腕立て伏せの命令が飛び、(https://www.dreun.jp/index.html)



20kgの砂を詰め込んだリュックを背負って山の中を駆け回り回ったかと思えば、人が最も恐怖を感じる15mの高さからのダイビング(命綱つき)。極めつきはボートを頭にのせたままの食事……本物の海兵隊はこれだろうか。

OJT(実施訓練)という形での人材育成が難しくなり、単純な作業がIT化されたり、非正社員に振り分けられる一方、正社員に求められる能力は高くなる。企業もパブル期の大量採用の反省から、中途採用やヘッドハンティングなどの方法で優秀な人材確保に臨むでしょう。(岡倉氏)

社会人基礎力を土台に 産学連携の取り組みを

こうした状況のなか、経済産業省が若者の就業意識を喚起するため「社会人基礎力」の必要性を訴え、学校・企業・地域社会が一体となった社会全体の取り組みに動き出している。

しかし、これまでも「生きる力」の育成を掲げた「ゆとり教育」などの取り組みがあったが、「社会人基礎力」とはどのような能力を指すのか。経済産業省の能村幸雄氏が言う。

「90年代以降の国内市場の成熟化、IT化によるビジネス環境の変化により、ひとつの専門知識や基礎学力があればいいというわけではなく、むしろそういった知識や学力を使いこなすためのコミュニケーション能力や実行力、積極性などの実践的な力が重要となっています。そうした能力を社会人基礎力と呼んでいます」

まさに本誌が行ったアンケートにおいて、近年の新人社員に欠如しているとされた能力——それが社会人基礎力であるようだ。SPA!ではこれを「人間力」と解釈した。

「これらの能力は子供が大人になるプロセスで、家庭や地域社会の中で自然に身に付けられるとの認識があり、これまででは明確にされてきませんでした。しかし現在は核家族化、少子化が進み、価値観をぶつけ合う場、社会の中での自分の立場に気づく場が少なくなっています。だからこそ社会人基礎力を合